Adobe® Illustrator®　Adobe® Photoshop®

入稿の手引き

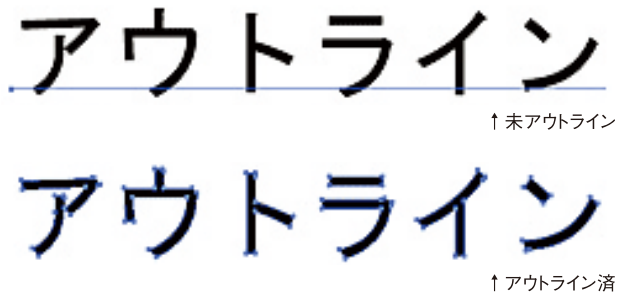
この冊子で入稿のルールをしっかりと守り、
トラブルやミスが起こらないようにして下さい。

Adobe® Illustrator®の注意点

アウトラインは必ずかけて下さい

イラストレーターのデータ入稿ミスで、非常に多いのがアウトライン関係。アウトラインはテキストデータを図形に変換することです。アウトラインが取れていないと、他のパソコンでデータを開くときに書体の情報がなく、違う書体に置き換わってしまいます。

アウトラインをかけたデータは別名保存時に『データ名_ol.ai』など、アウトラインをかけたということが分かる名前をつけて下さい。

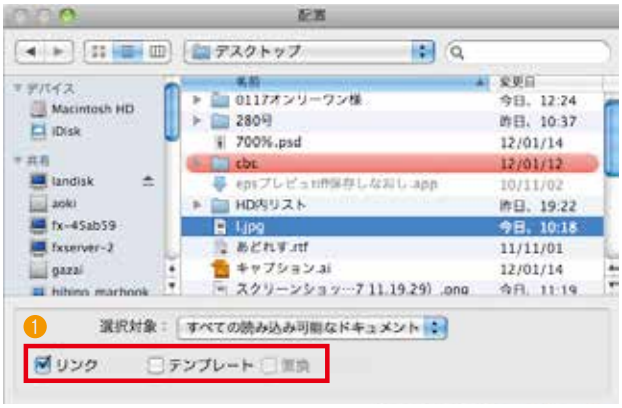


アウトラインを取れていないと文字に下線が入り、取れている場合は図形認識の形になります。アウトラインが取れていない場合は再入稿して頂くことになります。

配置画像は埋め込まず、必ずリンクで

画像をイラストレータに配置するときは、【ファイル】→【配置】を選び、画像を選択します。このときに画像が勝手に埋め込まれてしまうことがあります。画像を埋め込むとイラストレーターデータの容量が非常に大きくなります。

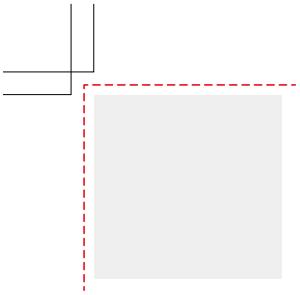
❶は配置の際にダイアログです。赤で囲った部分のチェックが外れていると画像は自動的に埋め込まれてしますので注意して下さい。



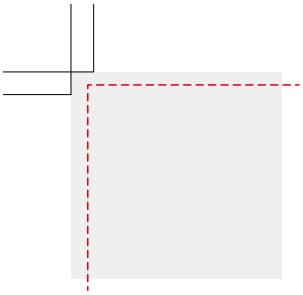
塗り足しを必ず作って下さい。

トンボは【フィルタ】→【クリエイト】→【トリムマーク】でつけることができます。ちなみに【オブジェクト】→【トンボ】→【作成】でつくトンボはイラストレーターで画像を書き出したりするときに使う特別なトンボです。プリントアウトでは一切プリントされないので注意して下さい。

もうひとつ気を付けてほしいのが塗り足しです。塗り足しとは裁断位置の外側3mmまで画像や色をのばしておくことです。裁断する際に若干ずれることがありますので、塗り足しが無いと余白がでることがあります。逆に内側にずれることもありますので、ぎりぎりの場所に文字や写真は配置しないで下さい。



塗り足しがない場合、裁断が少しでもずれると余白がでてしまいます。



塗り足しがあれば多少ずれても余白は出てきません。

保存時にPDFのチェックを外す

データを保存する際にチェック項目が4つ❷ありますが、一番下の『圧縮を使用』以外は全てチェックを外して下さい。

特に『PDF互換ファイルを作成』は必ずチェックを外して下さい。データの容量が大きくなる原因になります。

Adobe® Photoshop® の注意点

保存形式はEPS形式で（PSDでもOK）

画像を保存するときに、保存形式を選べますが必ずEPS形式で保存してください。よくある質問で、『EPSで配置したら画像がすごく荒い』という質問がよくありますが、このEPS形式はイラストレーターに画像を配置したときに、処理動作を軽減するために画質が極端に低い画像で表示をします。しかし、この形式はデータをプリンタに送ったときに正しい画像に描き直して出力されます。

❸はEPSで保存するときに出てくるダイアログです。プレビューはTIFF(8bit/pixel)、エンコーディングはJPEG-最高圧縮（低圧縮率）、チェック項目は全て外して下さい。Mac版はプレビューのところをmacintosh(8bit/pixel)で保存してください。

もうひとつの注意点として、エンコーディングの部分を「バイナリ」にしないで下さい。無圧縮のデータなのでデータ容量が10倍に膨れ上がることもあります。

❸

Windows版

Mac版

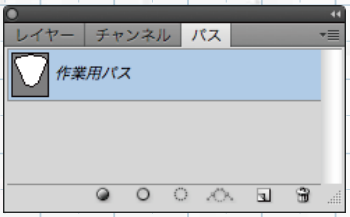
画像の切り抜きについて

背景を透明にしたい場合は［消しゴムツール］を使わず、［ペンツール］を使って切り抜いて下さい。

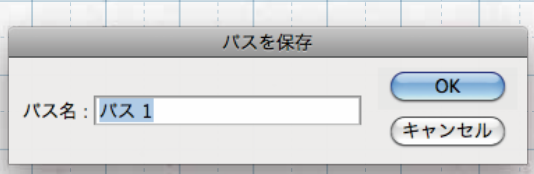
イラストレーターに配置したいときは、［ペンツール］で作ったパスをクリッピングパスにすると配置したときに背景は透明になります。下の図ではクリッピングのパスの作り方を説明します。

クリッピングパスの作り方

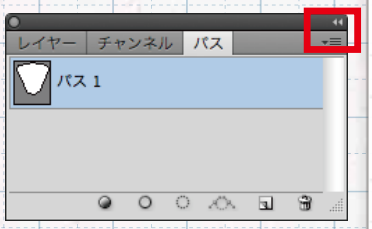
この画像を切り抜きます。



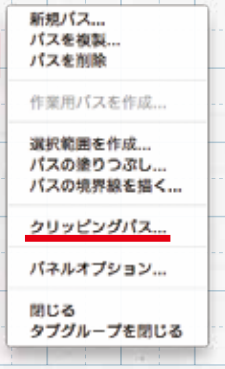
［ペンツール］でパスを作ると、作業用パスが作られます。

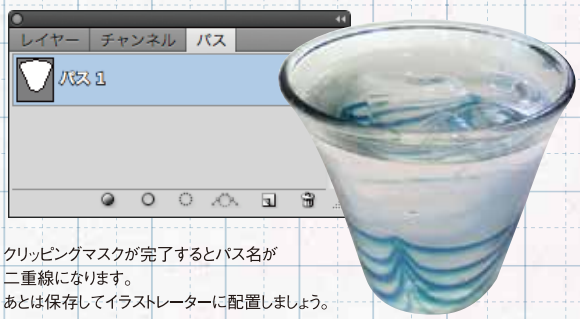


作業用パスをダブルクリックすると、パスを保存できるので、名前をつけて保存します。



赤枠で囲ってある三角形のマークをクリックすると別のウインドウが開くので、クリッピングパスを選択してください。





クリッピングマスクが完了するとパス名が二重線になります。
あとは保存してイラストレーターに配置しましょう。

特殊効果とは

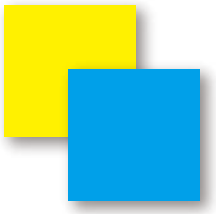
特殊効果って何？

特殊効果とはオブジェクトを透明にしたり、ぼかししたり、影を付けたりする効果です。下は代表的な特殊効果の例です。
こういった機能は大変便利ですが、使用したデータを印刷すると、透明にならない、自然な感じに印刷されないといった場合があります。

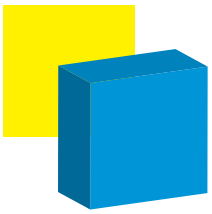
【透明効果】

【ぼかし効果】

【ドロップシャドウ】



【3D効果】



【光彩】

それでも効果を多用した場合

①保存する時に「PDF互換ファイルを作成」にチェックを入れて保存（トンボは付けない）
②保存したIllustratorをPhotoshopで開く。（CMYKモード、解像度200～300で）
③余分な部分があったら切り取る
④画像をeps保存（低圧縮）
⑤Illustratorデータにeps画像を配置→トンボ等を付ける

メリット

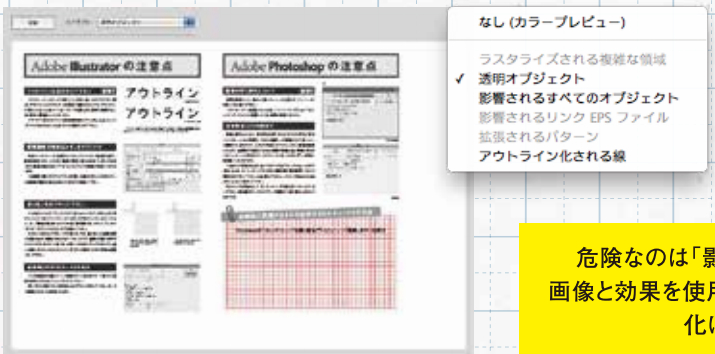
大抵のものは対処できる

デメリット

全てが画像になるため、細い線等はガタつく可能性がある。

印刷後に問題がおきる可能性があるかチェックする方法

illustraterの「ウィンドウ」→「分割・統合プレビュー」→「更新」ボタンを押す

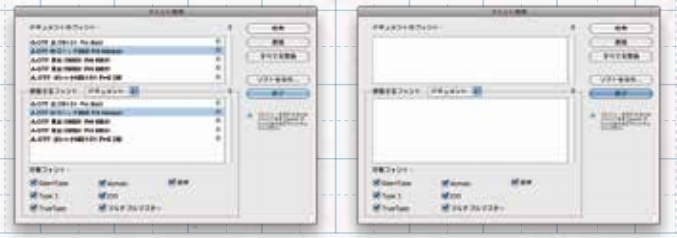


理想は「更新」ボタンの隣にある「ハイライト」タブをクリックして何も選べない状態。
「透明オブジェクト」「影響されるすべてのオブジェクト」が選択できると、何か効果を使っている可能性がありますが、psdデータを配置しただけでも選べるので、必ずしも問題が起きるわけではありません。しかし若干危険。

**危険なのは「影響されるリンクepsファイル」が選べる状態。
画像と効果を使用しているオブジェクトが混在している時が多く、
化けて印刷される可能性があります。**

illustraterの「書式」→「フォント検索」

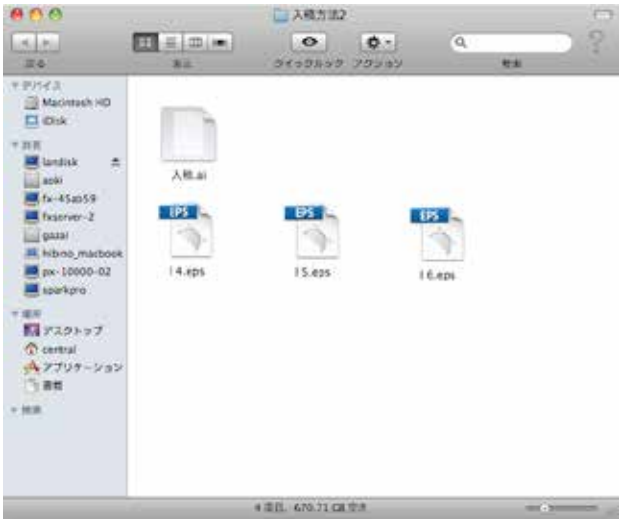
この画面では現在使用しているフォントの一覧が出てきます。
フォントはアウトラインをとると図形認識になるので、ここでフォント名がでてくるということはまだ
アウトラインが取れてないテキストが残っているということ。



データ入稿について

必要なデータだけを入稿して下さい

入稿用メディアには必要なデータだけを入れてCDかUSBメモリで入稿して下さい。他の作品や過去のデータなどは、別のメディアに移しておいて下さい。場合によっては画像配置したリンクが変わってしまうこともあるので、日頃から不要なデータを入れないようにして下さい。この件で起きた事故には責任を持てませんので、ファイル管理をしっかりとしてください。



▲理想の入稿です。いらないデータは一切無く、どのデータを出力するのかが一目で分かります。トラブルの可能性も低くなります。

使用画像はイラストレーターと一緒に

イラストレーターデータとリンク画像を別のフォルダに分けて入稿されることがありますが、リンクが外れたりデータの入れ忘れなどの原因となりますので、イラストレータのファイルと画像データは同一の階層で制作をして、入稿するようにして下さい。

▲どれが出力データか分からず整理もされていないので、必要なデータ以外はいれないでください。

カンプは必ず持ってくる

カンプとは出力見本のことです。出力したときにデザインの違いやエラーが出ていないかをチェックしますので、必ず必要になります。

カンプが無い場合は万一トラブルが起こっても責任は持てませんので、一緒に入稿するようにして下さい。

入稿前チェックシート

- ☑ 出力に必要なデータだけをご入稿ください。
- ☑ 出力見本を必ず付けて下さい。
- ☑ 出力データは必ずコピーをとってください。
- ☑ テキストデータは必ずアウトライン化してください。
- ☑ イラストレーターに配置した画像データは必ずご入稿ください。

学生専用価格表

出力・加工学生専用価格表（税込）

種類	光沢紙／半光沢紙／マット紙 合成紙／新聞校正紙	アイフォトモロー／かきた プレミアムマット紙	キャンバス／和紙
	1枚単価▼	1枚単価▼	1枚単価▼
B0(1030×1456)	6,480	14,040	18,360
B1(728×1030)	3,240	7,020	9,180
B2(515×728)	2,160	4,970	6,480
B3(364×515)	1,510	3,565	4,645
A0(841×1189)	5,290	11,665	15,010
A1(594×841)	2,915	5,830	7,560
A2(420×594)	1,945	3,995	3,235

種類	ラミネート加工	パネル加工 5mm	パネル加工 7mm	木パネル代 【パネル加工】したものに木パネル加工します。	木パネル貼加工	アルミフレーム加工（シルバー） 【パネル加工 7mm】したものにフレームを取付けます。
	1枚単価▼	1枚単価▼	1枚単価▼	1枚単価▼	1枚単価▼	1枚単価▼
B0(1030×1456)	3,900	ー	7,250	12,880	1,080	3,170
B1(728×1030)	1,960	2,030	2,540	2,980	1,080	1,980
B2(515×728)	1,380	1,090	1,240	1,470	1,080	1,490
B3(364×515)	900	630	750	800	1,080	1,190
A0(841×1189)	3,190	2,980	3,570	6,720	1,080	2,550
A1(594×841)	1,580	1,460	1,820	1,960	1,080	1,670
A2(420×594)	1,140	820	950	1,030	1,080	1,390

美術系大学・デザイン系専門学校の学生さん

進級・卒業制作

セントラルがお手伝いします

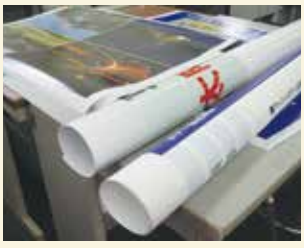
出力～加工までの行程を社内でおこなうので手間いらず!!

出力センターは、安くて早いだけの時代は終りました。
最高品質の紙面を提供することをお約束します。

豊富な知識
長年にわたり培った豊富な知識と熟練の印刷技術で、皆様の思い通りに仕上げます。

確かな技術
高い技術と徹底した製造・商品管理などの生産システムにより、高品質な印刷物を提供いたします。

サービスの追求
皆様が安心・安全・低価格で印刷をご利用できる様、お客さまのニーズ合わせた対応をいたします。



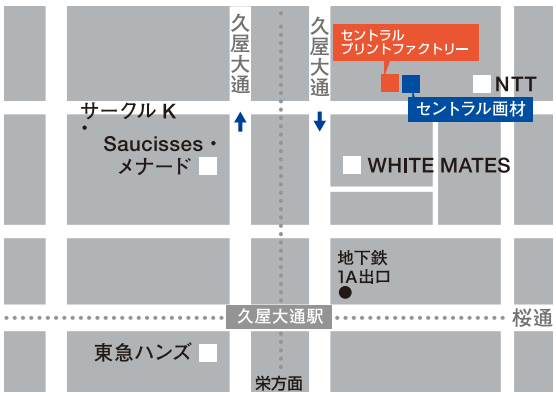
大型出力　ラミネート　スキャニング　クロマテック　パネル貼り　木製パネル

セントラル出力センターでは、水性顔料・溶剤・オンデマンド印刷などのプリンターが常時20台稼動中。加工所も併設しており、短納期で出力からラミネート加工・パネル加工・フレーム加工まで一括して承ります。
「あってよかった!」と思っていただけるよう、クオリティにもこだわり、ご満足いただけるサービスを目指して頑張っています。入稿方法、データ制作方法、メディアの種類、パネル加工など、ご質問があれば下記までお問い合せ下さい。

CENTRAL

セントラルプリントファクトリー

〒460-0001
名古屋市東区泉1丁目13-26
TEL:052-953-8628　FAX:052-951-2641
shu@central-gazai.co.jp



セントラル アートファクトリー尼ケ坂

〒462-0837
名古屋市北区大杉2丁目9-22
TEL:052-919-0005　FAX:052-919-0006
cgcmac@central-gazai.co.jp

詳しくはWEBで　セントラル画材　検　索